

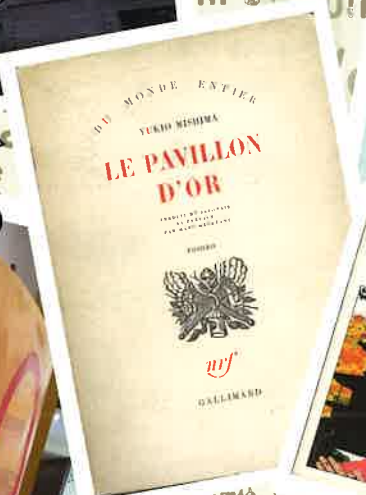
2018.10.16.Tue

>>2019.5.12.Sun

特集展示
美と孤独

帰

つてきた
『金閣寺』



山中湖文学の森 三島由紀夫文学館 - Yukio Mishima Literary Museum -

〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村平野 506-296

TEL : 0555-20-2655 FAX : 0555-20-2656 E-mail : info@mishimayukio.jp

URL : www.mishimayukio.jp

◆開館時間：10：00～16：30（最終入館16：00）

◆休館日：月曜日（祝祭日の場合はその翌日）、12月29日～翌年1月3日、資料点検日（不定期）
（但し、4月28日～5月6日は開館）

◆入館料：大人500円 高校・大学生300円 小・中学生100円

※三島由紀夫文学館・徳富蘇峰館共通チケット ※10名様以上から団体料金（50円割引）

◆主催：山中湖文学の森 三島由紀夫文学館、山中湖村教育委員会

◆監修：三島由紀夫文学館 研究員 山中 剛史

◆協力：ストラスブール国立・大学図書館、ストラスブールライン国立オペラ座、公益財団法人東京二期会



ごあいさつ

2018年3月から4月にかけて、フランス北東部の古都ストラスブールで、「三島由紀夫と『金閣寺』」展が開かれました。

宮本亜門演出のオペラ「金閣寺」がその催し Arsmondo Japon の中心にありました。オペラは2019年に日本でも上演されます。

三島由紀夫文学館では、学習院大学史料館とともに、ストラスブール国立・大学図書館での展覧会に協力し、初めて海外に所蔵資料を貸し出しました。オープン当日には当館館長であるわたくしの講演もありました。この特集展示は、いわばフランスからの凱旋展示となります。

小説『金閣寺』は、吃音^{きつおん}の青年僧が金閣に火を放つまでの観念のきしみを綴ったすぐれた言語芸術ですが、孤独の深部を表現したこの作品は、ことばの世界にとどまらなかったのです。映画、演劇、オペラへと新たな発展を見せました。そして、京都の北山での出来事がフランスに^{でんぱ}伝播したのです。

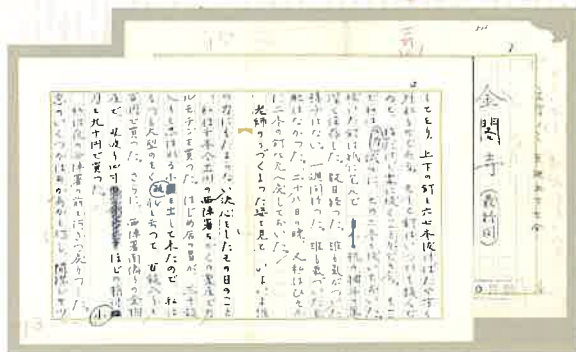
オリジナルの小説『金閣寺』とその二次創作の世界をご覧ください。



館長 佐藤 秀明



▲講演の様子



▲『金閣寺』直筆原稿



▲展示の様子

MISHIMA ET LE PAVILLON D'OR —三島由紀夫と金閣寺—

2018年3月2日から4月15日までの期間で、フランス・アルザス地方にあるラン国立オペラ劇場主催で「Arsmondo Japon」と称した日本のイベントが開催されました。この Arsmondo とは、2018年より開催された、豊かな国際色を打ち出したフェスティバルで、今シーズンからラン国立オペラ劇場の支配人に就任したエヴァ・クライニッツ氏が大変な日本通ということもあり、記念すべき第1回目となるイベントでは日本がフィーチャーされることになりました。

メインイベントである、黛敏郎作曲、宮本亜門演出のオペラ「金閣寺 (Le Pavillon d'or)」の上演を記念し、ストラスブール国立・大学図書館で、「MISHIMA ET LE PAVILLON D'OR 三島由紀夫と金閣寺」展が開催されました。

Université de Strasbourg, Faculté des langues

×

Mishima Yukio Literary museum